

KOGA IDOL

今月の古河っ子

いいこが育つ古河



野中虹来 ちゃん
(令和5年8月生まれ)

生まれてきてくれてありがとう♡大好き♡
(父：弘治、母：祥江)



加藤衣織 ちゃん(右)
(令和4年2月生まれ)

ねえね、にいに大好きやん
ちゃ娘
(父：洋、母：実紗)



渡邊睦斗 くん
(令和5年5月生まれ)

睦斗、パパママのもとに生まれてきてくれてありがとう！
(父：大貴、母：佳奈)



中内双葉 くん(右)
(令和3年1月生まれ)

兄弟仲良くたくさん笑って元気に育ってね
(父：大貴、母：愛実)

お子さんの写真を募集中！ <対象> 0～3歳の市内在住のお子さん <応募方法> メール・電話で受付中。メールの場合は件名を「今月の古河っ子応募」とし、本文に「お子さんの氏名(ふりがな)・生年月日・父母の氏名・住所・電話番号」を明記し、city.pr@city.ibaraki-koga.lg.jp(☎シティプロモーション課TEL92-3111)へ申し込みください！



わたしの夢

多くの人を支えられる看護師

森川花糸さん 諸川小学校6年生

私の将来の夢は、看護師です。看護師になりたいと思ったきっかけは、私の姉にあります。姉は生まれつき脳に障がいがあり、自分の意思を伝えることが難しいです。そして、言葉を話したり、自分で思うように体を動かしたりできません。その障がいは、治るものではないけれど、少しでも姉の役に立ちたいと思いました。姉を支えてくれている看護師さんも優しい人たちで、私にとっての憧れです。私が大人になったら、多くの人を支えられるような、優しい人になりたいです。



キラリ 古河ビト

誰もが笑顔になれる世界に

芸歴17年の実力派大道芸人

板子マコトさん(44歳・東本町)

風船を使ったバルーンパフォーマンスや円筒に乗せた板の上で行うバランス芸など、豊富なレパートリーと巧みな話術で観客を魅了する板子さん。大道芸人になったきっかけや、活動を通して伝えたい思いなどを伺いました。

高校生の頃に大道芸に興味を持った板子さんが、本格的にこの道に進もうと決心したのは20歳の時。苦手だった風船の破裂音を克服したいと思ったことがきっかけでした。その後、ボランティアで介護施設を訪問しながら腕を磨き、26歳でデビュー。初めてのステージでは緊張のあまり頭が真っ白になったそうです。少しづつ知名度も上がり、順調に見えた活動も4年前に転機が訪れます。新型コロナの流行。仕事はなくなり収入も減りましたが、こんな状況下だからこそ自分にできることをやろうと覚悟を決めたと言います。期間中は自然体験教室の講師などさまざまな仕事に挑戦し、大道芸以外にも人を笑顔にすることができると気付きました。同時に、人を喜ばせることが自分の生きがいでと改めて感じたそうです。昨年は4年ぶりに、一番思い入れがあるという古河桃まつりのステージに立ちました。観客から「おかえり」と声をかけられた時は自然と涙がこぼれたと話します。

「みんなの喜ぶ顔が私の原動力」と少し照れくさそうに語る板子さん。満開のハナモモの下で多くの観客が拍手を送り、満開の笑顔が広がる、そんな光景を今年も見ることができそうです。



▲愛くるしい表情も魅力の一つです



▲観客を魅了する圧巻の演技



▲風船でかわいい作品を作ります